

資料 ③

- 1、「平成22年度大学改革推進等補助金（大学改革推進事業）に係る事故繰越しの承認及び日所条件の変更について（通知）」および記載方法

(3-1-1～3-1-5)

- 2、事故繰越しに関する申請書類

(3-2-1～3-2-4)




- 3、「平成22年度大学改革推進等補助金（大学改革推進事業）変更交付決定通知書

(3-3-1～3-3-4)

- 4、「平成22年度大学改革推進等補助金（大学改革推進事業）事業内容変更等承認申請書

(3-4-1～3-4-2)

学 長	副学長	副学長	総務部長	総務課長	課長補佐	課長補佐	係
							

学 長	副学長	副学長	係
			

学校法人東北学院理事長 殿 
                     学 長 室 長 
                     財 務 部 
                     財 務 課 長 
                     就 職 部 長 
                     就 職 課 長 

22文科高第1408号  
平成23年3月31日

文部科学省高等教育局長  
磯 田 文 雄



平成22年度大学改革推進等補助金（大学改革推進事業）に係る  
事故繰越しの承認及び補助条件の変更について（通知）

貴学から申請のあった平成22年度大学改革推進等補助金（大学改革推進事業）に係る事故繰越しについては、下記のとおり承認されましたので通知します。

また、これに伴い、別添「変更交付決定通知書」のとおり補助条件が変更されましたので併せて通知します。

## 記

### 1. プログラム名称等

プログラム名称（選定年度）：

「大学教育・学生支援推進事業」就職支援推進プログラム（平成21年度）

事業名称：長期就業を目指した地元企業への就職支援

2. 繰越承認額 ： 金 375,000円

※写しを総務課へ送付済。



学長室事務課

## 理由書の繰越事由欄の記載方法について

繰越事由の記載は、原則として次の記載方法によるものとし、主観的な視点に偏ることなく、客観的に見て第三者が納得できるものであることを念頭に作成すること。

## ①計画に関する諸条件

(ア) 工事の施行に伴い発生する〇〇問題（例：公害、騒音、振動、水質汚濁等）について、地元との調整に不測の日数を要したため（補償処理に関するものを除く）

（記載例）計画に関する諸条件 ア（公害）

(イ) 工事の施行に伴い発生した状況変化（土質、埋蔵物、湧水、地盤等）に伴う施行能率の低下により不測の日数を要したため

(ウ) 工事の施行に伴う工事用資材等の運搬路の選択に当たり、地元との調整に不測の日数を要したため

(エ) 基本計画の策定・変更（面積、建物の配置、規模等）不測の日数を要したため

(オ) 他事業（災害、上下水道、電気等）との調整に不測の日数を要したため

(カ) 関係機関との協議・許認可に不測の日数を要したため

(キ) その他（具体的事由を記載すること）

## ②設計に関する諸条件

(ア) 工法の選択に当たり、不測の日数を要したため

(イ) 設計の変更を生じたので、設計変更、契約変更等の手続きに不測の日数を要したため

(ウ) その他（具体的事由を記載すること）

## ③気象の関係

(ア) 豪雨のため（〇月）

(イ) 豪雪のため（〇月）

(ウ) 風浪のため（〇月）

(エ) その他（具体的事由を記載すること）

（注）異常気象を理由とするときは、気象調書等により例年に比して異常が認められる場合に限る。（異常を証する資料が必要）

④用地の関係

- (ア) 用地買収の交渉に伴い発生する〇〇問題（例：価格、相続、境界、代替地等）、用地の取得が遅延したため
- (イ) 工事用用地（工事施行に必要な敷地）の借上げ交渉が難航したことにより、工事の施行が遅延したため
- (ウ) その他（具体的事由を記載すること）

⑤補償処理の困難

- (ア) 工事施行上障害となる〇〇（例：家屋又は工作物の撤去・移転、立木伐採、漁業権等）に係る補償交渉に不測の日数を要したため
- (イ) 工事の施行に伴い発生する〇〇問題（例：公害、騒音、振動、水質汚濁等）について、地元との調整に不測の日数を要したため
- (ウ) その他（具体的事由を記載すること）

⑥資材の入手難

- (ア) 工事箇所が地域的に集中したことにより、資材（セメント、ブロック、鋼材等）の不足を来したため
- (イ) 工事箇所が地域的に集中したことにより、労務者の手配調整に不測の日数を要したため
- (ウ) その他（具体的事由を記載すること）

⑦試験研究に際しての事前調査又は研究方式の決定の困難

- (ア) 事前調査に予想外の日数を要したため
- (イ) 研究方式の決定に予想外の日数を要したため

⑧その他

上記の理由によらない場合は、具体的理由を記載すること。

## 繰越しを必要とする理由

事 項	事 業 概 要	計 画	事 由
〇〇〇〇〇〇〇〇改修工事	<p>A県B郡C町</p> <p>(独立行政法人△△△研究所 (XYZ棟))</p> <p>XYZ棟耐震補強工事 一式 XYZ棟内部補修等工事 一式</p> <p>XYZ棟は、昭和45年に建設され、気候等立地条件により老朽化が激しいことから、当該建物の耐震性を調査したところ、安全とされる指標値を下回った結果が報告された。したがって、既存壁の増打ち及び柱の補強等により耐震改修を実施する。</p>	<p>[当初計画]</p> <p>事前調査・設計期間 平成20年11月初旬 ～平成21年 1月中旬</p> <p>契約事務期間 平成21年 1月中旬 ～平成21年 2月初旬</p> <p>工事期間 平成21年 2月初旬 ～平成21年 3月下旬</p> <p>[変更計画]</p> <p>事前調査・設計期間 平成20年11月初旬 ～平成21年 3月下旬</p> <p>契約事務期間 平成21年 3月下旬 ～平成21年 4月中旬</p> <p>工事期間 平成21年 4月中旬 ～平成21年 6月下旬</p>	<p>① 計画に関する諸条件 エ</p> <p>当初計画に基づき、XYZ棟の耐震補強に関して、既存壁の増打ち及び柱の補強を予定していたが、建物調査を実施したところ、柱や壁等の表面のひび割れ等が多いため、会議室等に新たな壁の設置が必要になることが判明した。</p> <p>しかし、この耐震補強工法では利用者が当該会議室を利用する上で支障が生じることから、□□□工法等による補強計画を検討する必要が生じた。</p> <p>この基本設計の見直しにより、設計変更の手続きに不測の日数を要し、また見直しに伴い工期も延長せざるを得なくなることから、完成が平成21年6月下旬となるものである。</p>

## 〇〇〇〇改修工事工程表

		平成20年度						平成21年度					
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
当初	事前調査												
	設計												
	契約事務												
	工事												
変更	事前調査												
	計画の見直し												
	設計												
	契約事務												
	工事												

3-1-5

平成 23 年 4 月 22 日

文部科学大臣 殿

大学等名	東北学院大学
大学等の設置者名	学校法人東北学院
職名・氏名	理事長 平河内健治

平成 22 年度大学改革推進等補助金（大学改革推進事業）に係る事業遅延届

平成 22 年度大学改革推進等補助金（大学改革推進事業）に係る事業の遅延について、大学改革推進等補助金交付要綱第 9 条の規定により、下記のとおり報告します。

#### 記

##### 1. プログラム名称

「大学教育・学生支援推進事業」（就職支援推進プログラム）

##### 2. 選定年度

平成 21 年度

##### 3. 事業名称

長期就業を目指した地元企業への就職支援

##### 4. 補助事業の内容及び進捗状況

本件補助事業のうち、平成 22 年度大学改革推進等補助金（大学改革推進事業）調書に記した「エントリーシート添削講座、面接対策講座」の取組（同調書・補助事業実施計画欄⑤）は、自分らしさをうまく伝え切れない学生に対して、的確に自己表現ができるようになる指導訓練の機会を個別に提供する取組である。そこでは、各学生が自らに気づいていない問題点を自覚させたり、逆に自分の長所を発見させたりしながら、自己分析を深めて、できるだけ自分の適性にあった職業探しができるようにもっていくことを目標としている。そして、そのような目標が達成できれば、自ずと的確な自己表現も出来るようになると思う。ただし、かような目標の達成は、一回限りの指導でなし得るものではなく、何度も面接指導や添削指導を繰り返しながらその完成度を高める努力をしていかなくてはならない。具体的には、これら各講座を受講した学生が平成 23 年 2 月 8 日及び同年 3 月 11 日に開催された学内合同企業説明会に参加した後、再度これら講座を受講することによって目標を達成し、もって就職内定へと繋げる成果を得る予定でいた。

## 5. 遅延理由

平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震により、本学各部局の業務は完全に停止し、同月28日から徐々に業務は再開しつつあるが、全体としては復旧に相当時間を要することによる。

## 6. 遅延に対して講じた措置

東北地方太平洋沖地震が発生した平成23年3月11日以降について、当初の計画では、3月14日（月）～同月18日（金）の各日、同22日（火）～同25日（金）の各日及び同28日（月）～同31日（木）の各日合計13日にエントリーシート添削講座および模擬面接講座を実施する予定であった（なお、カウンセラーの配置人数は、3月15日及び同月23日は2名配置、その他の日はカウンセラー1名配置。よって、カウンセラー配置はのべ15名である。）。

以上の予定が実施不可能となったので、これを4月1日（金）～同月28日（木）の期間の平日に割り振るかたちで予定を繰り延べて当初の計画を実施する。

## 7. その他



(別紙)

### 繰越を必要とする理由

事 項	事 業 概 要	計 画	事 由
エントリーシート添削講座及び模擬面接講座	エントリーシート添削講座及び模擬面接講座において個人指導を通じて、各学生が主体的に自己の適性にあった職探しをする事で、企業求人と応募学生のマッチングを高める事を目的として実施する。	東北地方太平洋沖地震が発生した3月11日以降について、当初の計画では、3月14日(月)～同月18日(金)の各日、同22日(火)～同25日(金)の各日及び同28日～同31日の各日合計13日にエントリーシート添削講座および模擬面接講座を実施する予定であった。(なお、カウンセラーの配置人数は、3月15日及び同月23日は2名配置、その他の日はカウンセラー1名配置。よって、カウンセラー配置はのべ15名)。 以上の予定が実施不可能となったので、これを4月1日(金)～同月28日(木)の期間の平日に割り振るかたちで予定を繰り延べて当初の計画を実施する。	エントリーシート添削講座および模擬面接講座では、各学生自身が気づいていない問題点を自覚させたり、逆に自分の長所を発見させたりしながら、自己分析を深めて、できるだけ自分の適性にあった職業探しができるようにもっていくことを目標としている。 ただ、かような目標達成は、一回限りの指導でなし得るものではなく、何度も面接指導や添削指導を繰り返しながらその完成度を高める努力をしていかななくてはならない。 加えて、これらの講座は2月8日、3月11日開催の学内合同企業説明会と連動させながら、学生の指導にあたっていた。 こうした指導を学生たちに行い始めたさ中に起こったのが、東北地方太平洋沖地震である。 この震災により、本学就職部の業務は完全に停止し、ようやく3月28日から部分的に業務を再開できる予定である。  かような次第ですので、これら講座における学生たちへの指導は現時点で全く不十分なままで、完結しておらず、当初の計画どおりに遂行することが困難な状況にあります。 そこで、今年度の補助事業としてのエントリーシート添削講座及び模擬面接講座について、年度を超えて延長させていただきたくお願い申し上げます。

3-2-3

# 工 程 表

		平成22年度												平成23年度											
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
当初計画	講座及び模擬面接講座																								
変更計画	講座及び模擬面接講座																								

3-2-4



22文科高第1408号

平成22年度大学改革推進等補助金（大学改革推進事業）  
変更交付決定通知書

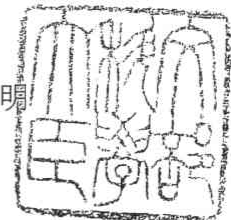
学校法人東北学院理事長

平成22年4月1日付け22文科高第151号で交付決定した平成22年度大学改革推進等補助金（大学改革推進事業）については、下記のとおり補助条件を変更したので通知する。

平成23年3月31日

文部科学大臣  
高 木

義 明



記

1. プログラム名称等

プログラム名称（選定年度）：

「大学教育・学生支援推進事業」就職支援推進プログラム（平成21年度）  
事業名称：長期就業を目指した地元企業への就職支援

2. 補助事業の実施期間：平成24年3月31日まで



## 受信メール:【文部科学省】平成22年度事業の繰越しに関する確認と依頼

送信者: 就職部就職課  
宛先: 嶋容三  
送信済: 2011/04/13 11:28

桔梗様 黒井様 嶋様  
転送します。

御担当者様

本メールは、平成22年度事業の繰越しを希望されている大学宛てに送付しております。

もし該当しないということであれば、お手数ですがご連絡いただけますようお願いいたします。

現在、ご提出いただいた理由書等により繰越しの協議を進めておりますが、協議と並行して

- ・補助事業の完了予定日を変更する「変更交付決定」
- ・平成22年度に概算払された補助金のうち、平成23年度に繰り越す金額の「国庫返納」

の手続きを行う必要がございます。

そこで、以下の2点について、お忙しいところを申し訳ございませんが、4月13日(水)中に

ご確認とご回答をお願いいたします。

○繰越し後の事業完了見込み年月日について

今回繰り越す事業の完了は、最長で平成24年3月31日まで延長することができますが、事業完了予定を4月下旬といったかなり近い日に設定されている申請が見受けられます。

完了予定日についての変更交付決定を行った後に、完了予定日が先に延びることが発覚

した場合、改めて変更交付決定の手続きを行う必要が出てしまうため、余裕を持たせた日を

設定しているかどうか再度ご確認をお願いいたします。

現時点で計画が未定である場合は、事業完了予定日を「平成24年3月31日」としてください。

○平成23年度に繰り越す「補助金額」について

平成22年度中に概算払がなされ、平成23年度に繰り越す補助金については、一度国庫返納

いただき、平成23年度に改めて概算払を行う必要があります。

そこで、平成23年度に繰り越す事業に要する補助金の額について、教えてください。

申請できる最高額は、「概算払合計額－平成22年度中に支払った(見込みも含む)金額」に

なりますが、所要額の算出が困難である場合は、最高額でご回答いただいても構いません。

全ての手続きについては、全て今月中に完了させる必要がありますので、至急で色々お願い

することがあるかと思いますが、ご協力いただけますようお願いいたします。



また、ご不明な点がございましたら、お問い合わせください。

【問い合わせ先】

文部科学省高等教育局学生・留学生課厚生係(担当:久坂(くさか))

電話 03-5253-4111(内2519)

03-6734-2519(夜間直通)

E-mail [gakushi@mext.go.jp](mailto:gakushi@mext.go.jp)



## 受信メール:【文部科学省】大学改革推進等補助金に係る事故繰越しの手続きについて

送信者: 就職部就職課  
宛先: 嶋容三  
送信済: 2011/05/13 16:07

桔梗様 黒井様 嶋様  
転送します。

大学改革推進等補助金  
(新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム)  
(大学教育・学生支援推進事業(学生支援推進プログラム))  
(大学教育・学生支援推進事業(就職支援推進プログラム)) 事務担当者様

お世話になっております。  
文部科学省学生・留学生課厚生係の久坂です。

事故繰越しについて、申請いただいた繰越額で、財務省から内諾を得ることができました。

ついては、補助事業実施期間の延長に伴う変更交付決定の手続を行いますので、必要書類を  
郵送でご提出いただきますようお願いいたします。  
本来、変更交付決定は平成22年度中に行う必要があるものですが、原因となった震災が年度末  
であったことから、この時点での提出となっております。  
文書日付は上述の事情から平成22年度中の日付とさせていただきます。

### 【提出書類】 ※添付様式をご使用ください

1. 事業遅延届(交付要綱第9条)(既にご提出いただいている場合は不要です。)
2. 変更承認申請書(交付要綱第7条第1項)

### 【提出期限】

平成23年5月20日(金)

### 【宛先】

〒100-8959 東京都千代田区霞が関3-2-2  
文部科学省高等教育局学生・留学生課厚生係  
※送付の際は、封筒の表に「繰越し関係書類在中(〇〇大学)」と朱書きしてください。

ご不明な点がございましたら、お問い合わせください。  
どうぞ宜しくお願いいたします。

### 【問い合わせ先】

文部科学省高等教育局学生・留学生課厚生係(担当: 久坂(くさか))  
電話 03-5253-4111(内2519)  
03-6734-2519(夜間直通)  
E-mail gakushi@mext.go.jp

平成 23 年 3 月 31 日

文部科学大臣 殿

大学等名  
大学等の設置者名  
職名・氏名（記名押印又は署名）

平成 22 年度大学改革推進等補助金（大学改革推進事業）  
事業内容等変更承認申請書

平成 22 年度大学改革推進等補助金（大学改革推進事業）について、事業内容を変更したいので、大学改革推進等補助金交付要綱第 7 条第 1 項の規定により、下記のとおり申請します。

記

1. プログラム名称

※採択されたプログラム名を記入。

2. 選定年度

平成〇〇年度 ※採択された年度を記入。

3. 事業名称

〇〇〇・・・ ※取組名称を記入。

4. 交付決定額

＊＊，＊＊＊千円 ※千円単位で記入。

5. 変更の内容

補助事業の実施期間を以下のとおり変更する。

【当初計画】

平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日

【計画変更】

平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年〇月〇日

6. 変更の理由

東北地方太平洋沖地震に伴う〇〇により、平成 22 年度内に事業を完了することが困難となった。事故繰越しとして翌年度にわたり経費を使用するため、補助事業実施期間を延長するものである。

7. その他

繰越見込額：＊＊＊，＊＊＊円

平成 23 年 3 月 31 日

文部科学大臣 殿

大学等名	東北学院大学
設置者名	学校法人 東北学院
事業推進代表者	学 長 星宮 望

平成 22 年度大学改革推進等補助金（大学改革推進事業）  
事業内容等変更承認申請書

平成 22 年度大学改革推進等補助金（大学改革推進事業）について、事業内容を変更したいので、大学改革推進等補助金交付要綱第 7 条第 1 項の規定により、下記のとおり申請します。

記

1. プログラム名称

「大学教育・学生支援推進事業」（就職支援推進プログラム）

2. 選定年度

平成 22 年度

3. 事業名称

長期就業を目指した地元企業への就職支援

4. 交付決定額

11,500 千円 ※千円単位で記入。

5. 変更の内容

補助事業の実施期間を以下のとおり変更する。

【当初計画】

平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日

【計画変更】

平成 22 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日

6. 変更の理由

東北地方太平洋沖地震に伴う交通途絶及び大学施設の被災等のため本学各部局の業務遂行が停止または停滞したことにより、平成 22 年度内に事業を完了することが困難となった。

事故繰越しとして翌年度にわたり経費を使用するため、補助事業実施期間を延長するものである。

7. その他

繰越見込額：375,000 円